

efit+ for T41 Ver.1.0.2.0 アップデート概要

2013 年 11 月
株式会社 ニコン・トリンブル

本書では、efit+ for T41 Ver.1.0.2.0 で、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for T41 Ver.1.0.2.0 の製品構成は下記の通りです。

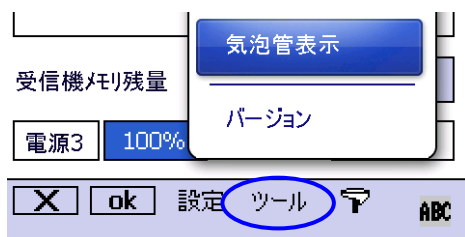
製品名	コード	備考	改良
efit+F 測量基本ソフト	B-E1-F00	基本キットに含まれます	
efit+F 測量計算	B-E1-F51		
efit+F RTK/DGPS観測	B-E1-F59		
efit+F 登記観測点検証	B-E1-F61		
efit+F GNSS静止/高速静止観測	B-E1-F01	基本キットに含まれます	Trimble R10 GNSS電子気泡管対応など

■ 電子気泡管の表示

GNSS 静止/高速静止

◆本バージョンより「Trimble R10 GNSS」に搭載されている電子気泡管が表示できるようになりました。

◆「静止測量」「高速静止測量」「キネマティック」で「Trimble R10 GNSS」が接続されると、ツールメニューに「気泡管表示」の項目が表示されます。

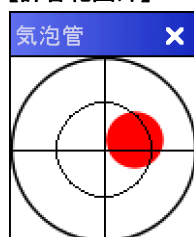


◆上記メニューから「気泡管表示」を選択すると「気泡管」画面が表示できます。
内側の円が許容範囲となります。

【許容範囲内】



【許容範囲外】



【チルト調整が必要時】



【アンテナ高入力がない画面の場合】



※気泡管は、受信機の操作パネルを「手前」に向けた状態を想定していますので、気泡管を使用する場合は、受信機の操作パネルの向きに注意してください。



【許容範囲】

許容範囲の内側円は、アンテナ高と「電子気泡管設定」で設定されている「気泡管感度」と「チルト許容範囲」から計算して表示します。
アンテナ高の設定のない観測待機画面では、許容範囲を表示できません。

◆表示する電子気泡管の設定とチルトの調整が行えます。

※チルトの調整には有効期限が設けられていて有効期限を過ぎるとチルトの調整を行なわないと電子気泡管の利用はできません。

ツールメニューから「バージョン」を選択します。

受信機情報画面

バージョン

受信機
タイプ R10
シリアル 5307426130

受信機バージョン
ファーム 4.70
BOOT 4.71

項目 搭載オプション

【移動局】
補正入力 [CMRx][CMR+][C...
NMEA出力 有り
RTCM入力Version [3.0][2.3][2.2][2....

【基準局】
補正出力 [CMRx][CMR+][C...
RTCM出力Version [3.0][2.3][2.2][2....

【無線】
Bluetooth [搭載]

気泡管設定

電子気泡管設定

気泡管感度 40分 気泡管表示

気泡管反応速度 中速 チルト調整

チルト許容範囲 0.020 m

チルト調整後の期限 30日0時間 編集

チルト調整の有効期限:
チルトが無効になるまで
あと27日6時間32分44秒

チルト調整の状態:
チルト調整が正常終了しました。

チルト調整

チルト調整を開始します。
正準された整準台に機器を
水平に置き動かさないよう
固定してください。
準備ができたら[OK]を選択
してください。

OK キャンセル

受信機を水平な場所に置き[OK]を選択すると調整を開始します。

チルト調整中

調整結果を「チルト調整の状態」に表示します。

【チルト調整】
チルト調整は必ず屋外で行なってください。
調整時に GNSS 衛星から時刻を取得していますので屋内で調整は行えません。

以上